



記入日	西暦 2020 年 1 月 13 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	高知県立大方高等学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	4
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	炊き出し訓練①②
実践担当者のお名前	浦田友香 野町純一

実践にかかった金額 チャレンジプラン予算額に関わらず実践でかかった費用の総額をご記入ください 具体的金額を記入するか、選択肢から該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	5 万円未満
実践の準備にかかった時間 期間ではなく合計時間を書いてください 例：月に 1 度、1 時間程度 3 回集まった→3 時間→数時間 該当しないものを削除し該当するものを 1 つ残す	1 日
実践活動を実施した日時 長期に渡る実践の場合には「時」や「分」を適宜削除してください	西暦 2019 年 5 月 15 日 11 時～15 時 西暦 2019 年 12 月 24 日 11 時～15 時
実践の所要時間 期間ではなく合計時間を書いてください。 例：2 時間×2 日 = 4 時間	8 時間
実践の運営側で動いた人の人数	20 人
防災教育の対象者の属性 非運営側として参加した人の主な属性 該当しないものを削除し該当するものを残す (複数可)	高校生
防災教育の対象者の人数	約 90 人
実践を行った都道府県と市区町村	高知県黒潮町
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	大方高等学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	



<p>達成目標</p> <p>社会的・地域的・時代的背景や実践の目的や何を達成しようとしたかを書いてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた条件のなかで、より良い行動を考え工夫することを体験する。 ・教員に頼らず、生徒同士で協力して何かに取り組むことを体験する。 	
<p>どの力を身につけようとしたか？</p> <p>該当しないものを削除し該当するものを1つ残す</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
<p>実践内容・方法</p> <p>これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください 適宜写真や図表等を入れていただいて構いません</p>	<p>【5月】</p> <p>① 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ貸し出し物を提示する。(炭・ドラム缶コンロ・トング・ライター・鉄板・紙皿) それ以外は貸し出ししない。 <p>② 炊き出し訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は各自家庭から一つずつ食材を持ち寄る。 ・グループの食材を合わせ、限られた道具を用いて調理する。 ・コンロの準備、火おこしなどはすべて生徒のみで行う。 <p>③ 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまくいかなかったところや、学校の準備物であったらよいと思うもの、など振り返りを行う。 <p>【12月】</p> <p>① 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ使用可能な食材を提示する。 ・6人グループを決めておく。 <p>② 炊き出し訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校食堂で電気が使えず、各グループに一つのガスコンロがあるという状況で、調理を行う。 	
<p>得られた成果</p> <p>どのようなチャレンジをし、その結果何が得られたかを書いてください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外で行った5月の炊き出し訓練では、火をつける作業一つとってもうまくいかないという体験をすることができた。 ・12月の訓練では、食材が限られている中でメニューを決め、自分たちの手で調理することができた。 ・生徒同士が限られた資源の中で、協力し合いながら活動することがで 	





	きた。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
<u>該当しないものを削除し該当するものを残す</u>	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫 やってみてわかった新たな課題、苦労した点、工夫した点などをこれから同様の実践を行うとする人が参考になるように書いてください	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月と12月に異なる条件で炊き出し訓練を行った。5月にはうまくできなかったことが12月にはうまくできたり、新しい課題が見つかったりと、有意義な取組となった。 ・ 食材を制限するだけでなく、使える水の量を制限すると、更に生徒の思考力や判断力を試すことができると感じた。 	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
<u>1つの実践事例に複数の関係者がいる場合には関係者の数だけ表をコピーして記入してください</u>	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
<u>1つの実践事例に複数の学びやメッセージがある場合には学びやメッセージの数だけ表をコピーして記入してください</u>	
伝えたい相手	
伝えたい内容	炊き出し訓練も、食材や道具を制限したり、場所を変えたりして、色々なパターンで行うことができると知りました。訓練を、生徒にとって新鮮で面白い活動にする工夫が、意欲の向上につながることも学びました。